

父ありき (1942)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 94分
初公開日 1942/04/01
映倫 G

【解説】

小津安二郎が池田忠雄、柳井隆雄とともに書いた脚本をもとに監督。父と息子との愛情を描いた名作。当時32歳だった笠智衆が70歳の老人を演じ話題となった。

金沢の中学教師である堀川周平は、妻を失い、小学生の良平と二人で暮らしていた。しかし修学旅行先で教え子を溺死させてしまい、責任を感じた周平は学校を退職。出身地の信州に帰るが、中学生になった良平を寄宿舎に預け、一人で東京の工場に勤めることにする。帝大を卒業し教師となった良平は、徐々に父親と温泉宿で再会し、教師を辞めて一緒に暮らしたいと告げた。しかし周平は「今の仕事を投げ出してはいけない」と息子を諭すのだった。

【クレジット】

監督 小津安二郎
脚本 池田忠雄
柳井隆雄
小津安二郎
撮影 厚田雄治
美術監督 浜田辰雄
衣裳 斎藤耐三
編集 浜村義康
音響効果 斎藤六三郎
音楽 彩木暁一
演奏 松竹交響楽団
出演 笠智衆 堀川周平
佐野周二 良平
津田晴彦 少年時代
佐分利信 黒川保太郎
坂本武 平田真琴
水戸光子 ふみ
大塚正義 清一
日守新一 内田実
西村青児 和尚さん
谷麗光 漢文の先生
河原侃二 中学の先生
倉田勇助 中学の先生
宮島健一 会社員

文谷千代子	堀川の女中
奈良真養	医師
大山健二	卒業生
三井秀男	卒業生
如月輝夫	卒業生
久保田勝巳	卒業生
毛塚守彦	写真師
大杉恒雄	北陸の中学生
葉山正雄	北陸の中学生
永井達郎	北陸の中学生
藤井正太郎	北陸の中学生
小藤田正一	東北の工業生
緒方喬	東北の工業生
横山準	東北の工業生
沖田儀一	東北の工業生